



ACMAビジョン『秋田県民と介護支援専門員の未来創造』 ～ R3 年度変革の年から行動の R4 年度への有言実行力～

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和

新型コロナウイルスも終息の兆しが見えてきましたが、この3年間、利用者様の生活継続の為に尽力されてきました介護支援専門員の皆様には心より敬意を表します。

さて、就任2年目となった令和4年度は、ACMA ビジョン『秋田県民と介護支援専門員の未来創造』のもと、次の3つの事業方針を掲げ、職能団体としての活動基盤づくりをブラッシュアップしました。

- | | | |
|------------------|-----------------|--------------|
| 1. 職能団体としての基盤づくり | 2. 介護支援専門員人財の育成 | 3. 秋田県への地域貢献 |
|------------------|-----------------|--------------|

今年度より、介護支援専門員の法定研修（専門研修Ⅰ・Ⅱ、更新研修、主任CM研修、主任CM更新研修）を秋田県から受託・運営ができたことは当協会にとって大きなターニングポイントになりました。介護支援専門員の職能団体として人材教育・育成を担うことは必然であり、法定研修はその根幹です。法定研修実施主体としてその役割を担うことは、身が引き締まる思いですが、秋田県民と介護支援専門員の未来創造のために、しっかりと職能団体としての責任を果たしていきます。

また、「ケアラー支援・普及啓発事業」においても、新たにSNS相談事業（ケアラーサポートLINE 秋田）、オンラインつどいの場運営事業も受託しました。ケアラー支援という社会課題に対しても真摯に取り組んでいきます。

そして、事務局体制についても、新たに職員2名を採用し事務局3名体制とすることでの運営体制の強化、秋田県からの事業を積極的に受託することでの財政基盤の安定化も図ることができました。

会長に就任してあつという間の2年間でしたが、協会独立という変革期において、組織基盤構築という重要な任務をカタチにすることができ、ほっとしているのが本音です。

すべては秋田県長寿社会課様からの手厚いご支援をはじめ、理事及び会員の皆様の献身的な活動への協力をいただいたおかげです。ご支援ご協力をいただきました全ての方々に感謝を申し上げます。

令和5年度は役員改選もあり、新たな体制での協会運営となりますが、どんな体制になろうとも、やるべきことはこれまで積み重ねたことを更に進化させ、当協会が発展・永続化することです。会員一体オール秋田で創造していきましょう。

すべては、秋田県民と介護支援専門員の未来と幸せのために…

【目次】

【巻頭言】秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和	1 P
【県内3地区協会活動紹介】	2～4 P
○県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本	
○中央地区：男鹿南秋湯上・秋田・由利本荘にかほ	
○県南地区：大仙仙北・横手・湯沢雄勝	
【各研修報告】	5 P
【ケアマネペンリレー】・【介護支援専門員実務研修受講試験結果他】	6 P
【秋田県介護支援専門員協会 運営活動報告】（事務局・部会等）	7～8 P

県北地区介護支援専門員協会

地区会長：袴田 光樹（弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター）
 事務局：佐藤 真弓（ケアプランセンター ひだまり）
 TEL：0186-63-1664 FAX：0186-84-8260
 地区会員：195名（令和4年12月31日現在）

【活動報告】

2025年問題が差し迫る中、医療・福祉を取り巻く環境は変化しており、私たち介護支援専門員の心身の負担は増すばかりです。介護支援専門員の仕事は「感情労働」と呼ばれ、私たち自身がメンタルヘルス不調を起こす事も少なくありません。

今年度、県北地区介護支援専門員協会では、介護支援専門員間の交流や業務改善、資質向上だけでなく、介護支援専門員自身がメンタルヘルス不調に陥らないために、記録業務やメンタルヘルスの研修会を開催致しました。今後も介護支援専門員自身の健康を守りながら、皆で切磋琢磨できるよう活動を続けていきたいと思っております。

【研修報告】

グループスーパービジョン研修は、対面形式で開催予定でしたが、医療機関、福祉施設での感染拡大が広がっていたため、今年度の開催は中止と致しました。

《第1回研修会》

日時：令和4年8月6日（土曜日）

場所：秋田しらかみ看護学院（能代市）

参加者：会場 20名 / オンライン 81名

テーマ：「ケアマネの記録術

～対人援助専門職の実践過程の可視化～

講師：青森県立保健大学 健康科学部社会福祉学科 助教 葛西 孝幸氏



《第2回研修会》

日時：令和5年1月14日（土曜日）

参加者：オンライン 50名

テーマ：「介護支援専門員のメンタルヘルス ～コロナ禍に必要なセルフケア～」

講師：青森県公認心理師・臨床心理士協会 産業組織領域担当理事 盛田 沙織氏

《第3回研修会》

日時：令和5年3月11日（土曜日）

参加者：41名

テーマ：「介護支援専門員による災害支援対策とBCPの策定」

（第6回災害支援ケアマネジャー養成研修・伝達研修）

講師：ケアプランセンターみんなの家 管理者 菊地 雅也氏



中央地区介護支援専門員協会

地区会長：綿貫 哲 （けあデザインラボ）

事務局：三浦 秀己 （光峰苑居宅介護支援センター）

T E L：018-868-1444 F A X：018-868-2168

地区会員：298名 （令和4年12月31日現在）

【活動報告】

昨年に引き続きコロナ禍が続く中で、中央地区介護支援専門員協会では今年度もオンラインでの研修会や会議を開催してきました。対面する機会が減少している中でFacebookに加えて、LINEワークス、Instagramを開設し情報共有、情報発信に力を入れた一年でした。今後も「地域の介護支援専門員を支える」を大きな目標として活動を進めていきます。

【研修報告】

令和4年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第1回研修会（オンライン研修）

日 時：令和4年5月20日（金）14：30～17：00

テーマ：ICT活用で生産性向上計画～ICTを上手に使って、できる支援とは～

講 師：NPO法人 タダカヨ

参加者：56名

令和4年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会

第2回研修会（オンライン研修）

日 時：令和5年1月12日（木）

14：00～17：00

テーマ：2024年度より義務化！BCP（業務継続計画）を学ぶ

講 師：秋田県中央地区介護支援専門員協会 役員

参加者：56名



令和4年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第3回研修会（ハイブリッド研修）

日 時：令和5年3月3日（金）14：00～16：30

テーマ：利用者の全人生を支えるケアマネジメント～尊厳とケアマネジメント～

講 師：日本介護福祉士会 元会長 石本淳也氏

参加者：95名

【介護支援専門員同士の繋がり、支え合える関係づくり】

今年度も『ケアマネカフェ』『けあまね塾』『主任ケアマネサロン』等、コロナ感染状況を確認しながら、オンライン主体で研修を継続的に開催しました。沢山の方に参加していただきありがとうございました。



Facebook



Instagram

県南地区介護支援専門員協会

地区会長：小原 秀和（介護老人保健施設 なごみのさと）

事務局：塚本 信太郎（すこやか横手居宅介護支援事業所）

T E L：0182-33-7777 F A X：0182-33-7722

地区会員：326名（令和4年12月31日現在）

【活動報告】

県南地区介護支援専門員協会では、今年度も新型コロナウイルス感染症予防の観点からオンラインでの研修会や会議等を開催してまいりました。対面が制約された中でも研修会では多数の参加を頂き、介護支援専門員相互の連携、知識・技術の研鑽及び資質向上に努めることができました。

【研修報告】

◇第1回 令和3年6月10日（参加者：103名）

内容①：CM周辺と県協会の動き+介護事業所のDX化で人財創生

講師：秋田県介護支援専門員協会 会長 小原秀和

内容②：地域同行型研修の報告

プレゼンター：りんごの里福寿園居宅介護支援センター 後藤由紀奈氏

アドバイザー：すこやか横手居宅介護支援センター 塚本信太郎

ファシリ：秋田県介護支援専門員協会 理事 石橋裕子



横手市増田町居宅介護支援事業所 菊地希氏

仙北市包括支援センター 佐々木孝臣

◇第2回 令和4年7月13日（参加者：127名）

内容：適切なケアマネジメント手法の手引き

講師：株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアマネジャー 齊木大氏



◇第3回 令和5年2月3日（参加者：99名）

内容：チームビルディングー足し算から掛け算に変わるチームの作り方ー

講師：ANA ビジネスソリューション株式会社 専属講師 森美佳氏



◇できるケアマネ養成塾 令和4年9月1日 10月6日 11月11日（参加者：17名）

第1回：マインドセット編 講師：秋田県介護支援専門員協会会長 小原秀和

第2回：マル秘テクニック 講師：県南地区介護支援専門員協会役員

第3回：医療連携のコツ 講師：木村内科医院 院長 木村靖和先生

YUME KANAERU PDCA 講師：社会福祉法人あけほの会 通所・訪問リハビリテーションチーム 理学療法士 永富慎之氏

◇湯沢雄勝地区 介護支援専門員研修会 令和4年8月24日（参加者：25名）

内容：ケアプラン点検～課題整理総括表を活用して～

講師：秋田県介護支援専門員協会 理事 石橋裕子

◇横手地区 ケアマネジメント研修会 令和4年8月26日（参加者：55名）

内容：高齢ふれあい課に確認したいこと



研修報告(県受託分・協会自主研修)

昨年度同様、秋田県から「介護支援専門員等に対する実践向上研修」を受託、協会自主研修と併せ、下記の通り開催致しました。参加なさった方の感想をご紹介します。令和5年度も開催予定ですので、今回ご参加出来なかった会員の皆様、自己研鑽の為、そして仲間づくりの為に、是非ご参加ください。お待ちしております。

研修名：ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修（秋田県委託事業）【R4.10.19・11.10 18名修了】
 講師名：公益社団法人 青森県介護支援専門員協会 会長 木村隆次氏
 アンケートより：・学び多くアセスメント力を更に深めたいと反省致しました。また、模擬の自立支援型ケア会議を行う事で、色々な視点からアセスメントを行う必要を再認識で出来ました。

研修名：地域同行型研修（秋田県委託事業）【R4.9.20・11.22 5名修了】
 講師名：公益社団法人 青森県介護支援専門員協会 会長 木村隆次氏
 アンケートより：・アドバイザーの方達が、本当に丁寧にアドバイスをして下さいました。多角的な視点、ニーズの掘り下げ、専門的知識の必要性における他職種連携など、重要で必要な事を学ぶ事が出来ました。（受講者）
 ・主任介護支援専門員にとっても今回の研修を通して指導方法等、学ぶ事が多く有意義な研修となりました。（アドバイザー）

研修名：事業所管理者向け研修（秋田県委託事業）【R4.11.14 134名修了】
 講師名：一般社団法人あたご研究所 代表理事 後藤佳苗氏
 アンケートより：・運営指導前にタイムリーに対策を学べ、参考になりました。
 ・改めて管理者とはケアマネとは、事業としては、見直す機会になりました。
 ・同じ内容を介護支援専門員全体で共有したいです。

研修名：初任者フォローアップ研修（秋田県委託事業）【R5.1.14 57名修了】
 講師名：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊純一氏
 アンケートより：・これであっているのか？と思いながら業務をしている部分が多いので、明確な理由や裏付けがよく分かりました。資料の中にも何をポイントにしてモニタリングすれば良いのか書かれていて参考になりました。うろ覚えな部分が多く、繰り返し勉強していきたいと思いました。

研修名：復職者向け研修（秋田県委託事業）【R5.2.18 15名修了】
 講師名：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊純一氏
 アンケートより：・以前受けた更新研修より情報が変わっていて、学び直す必要があると感じました。

研修名：介護予防従事者研修（協会自主事業）【R4.12.14 98名修了】
 講師名：御所野地域包括支援センター けやき 阿部公一氏
 牛島地域包括支援センター 南寿園 佐々木基成氏
 アンケートより：・資料、説明が分かり易く、普段の自分の業務内容と照らし合わせる事が出来ました。

研修名：ICTを活用した生産性向上スキル習得講座（協会自主事業）【R5.2.22 60名修了】
 講師名：NPO法人 タダカヨ
 アンケートより：・「自分はICTは疎いから…」と背を向けるのではなく、味方につけることで自分たちが楽になる事を、多くの人に知って欲しいと思いました。

上記の研修の他、家族等の介護や看病を行っている方をサポートする場として、定期的に「ケアラーオンライン つどいの場」も開催しております。日々の介護で悩まれている方が多くいらっしゃると思いますので、どうぞご案内ください。（詳しくは秋田県介護支援専門員協会 HP をご覧ください。）

ケアマネ・ペンリレー



「仕事と息抜きのバランス」

所属先 サービス付き高齢者向け住宅 みんなのまち

お名前 介護支援専門員 川端 洋祐

秋田市新屋にあるサービス付き高齢者向け住宅みんなのまちの川端です。みんなのまちでは糖尿病で注射が必要な方や在宅酸素が必要な方、看取りなど入居者様の状態が変化しても対応できるよう各職種が協働して日々忙しくも充実した毎日を送っています。

さて、忙しい日々を過ごしているとどこかで発散する必要があると思います。20代の頃は飲み歩きが趣味で体重と尿酸値がうなぎのぼりでしたが、30歳になってからはなぜか急に魚釣りがしたいと思い、釣具屋でサビキ釣りセットを購入し秋田港にてのんびりと釣りをするようになりました。釣りを始めると自然と飲み歩く頻度も減少していきましたが、現在も体重は変わらないのが不思議です。

初めのうちは秋田港でサビキ釣りを楽しんでいましたが、徐々にルアーを使用した釣りに興味を持ち始め、雄物川や秋田運河でルアーでのスズキ釣りにどんどんのめりこむようになり、多い年は、年間100回は釣りに出かけていました。現在はフカセ釣りにどっぷりとはまり秋田港、男鹿市椿、加茂など漁港や磯に通い黒鯛を狙っています。その合間にブッコミ釣りで真鯛を狙ったり、キス釣りやホッケ釣りなどしています。

普段は仕事で日々忙しくしていますが自然の中で息抜きをしっかりと行う事でリフレッシュして仕事への活力になっています。

川端さんありがとうございます。次回は県南地区です♪

【インフォメーション】秋田県社会福祉協議会

令和4年度秋田県介護支援専門員実務研修受講試験について

《年度別 受験者数・合格者数・合格率》

《地域別（勤務先による）》

年度	受験者数	合格者数	合格率		令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和2年度	583人	73人	12.5%	県北	20人	30人	18人
令和3年度	614人	111人	18.1%	中央	31人	54人	51人
令和4年度	568人	97人	17.1%	県南	22人	27人	28人
				計	73人	111人	97人
職種別合格者数							
看護師	11人	理学療法士	4人	介護福祉士	69人	柔道整復師	1人
准看護師	2人	作業療法士	1人	相談援助業務	4人	視能訓練士	1人
保健師	2人	薬剤師	1人	社会福祉士	5人	歯科衛生士	1人

今年度の試験は、令和4年10月9日に実施され、97名の方が合格されております。合格者を対象とした実務研修では、新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、3年ぶりに訪問を伴う実習が行われました。ご協力頂きました事業所の皆様に感謝申し上げます。

秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告

◆ 事務局 ◆

県協会からのお知らせ

令和4年4月1日より事務局員3人体制がスタートし、本年度より秋田県からの委託を受け、介護支援専門員法定研修を開催しております。令和5年度は、事務局体制の充実を図ってまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い致します。

会員情報の変更をお知らせください

引っ越し・転職・異動等に伴う会員情報（自宅住所、勤務先等）の変更の際には、届け出をお願いしています。所定の様式（「届出変更書」）にご記入の上、各地区事務局まで提出願います。

◎ 研修部会 ◎

令和4年度は、法定外研修の企画・開催を中心に活動をおこないました。研修内容は、令和3年度に引き続き、秋田県長寿社会課より委託を受けている「地域同行型研修」「ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修」「初任者フォローアップ研修」「事業所管理者向け研修」「復職者向け研修」、協会自主企画の「介護予防従事者研修」「ICTを活用した生産性向上スキル習得講座」の7事業になります。研修実施状況については、本誌、研修報告に記載しております。

その他、秋田県からケアラー支援・普及啓発事業を受託し、県民がケアラーに対する理解を深めるためのセミナーやケアラー支援体制を拡充させるため相談業務従事者向けの研修等を開催しました。また、ケアラー同士が日常の悩みを共有し、安心できる居場所を提供するため「オンラインつどいの場」を月1回開催したほか、SNSによる相談窓口も設置し、普及啓発資料を制作・配布しながら相談に応じました。

地域での支援体制構築や介護支援専門員の資質の向上は、職能団体である秋田県介護支援専門員協会の活動の目的の一つです。新人からベテランまで、一人一人の介護支援専門員が専門職としての役割を果たし、秋田の高齢福祉に貢献できるよう研修活動を展開していきたいと思っております。今後の研修活動にご注目ください。

◎ 調査研究部会 ◎

昨年度（R3）は県内のケアラー（ヤングケアラーを含む）について、県内の高齢者支援機関、障がい者支援機関、福祉事務所、教育事務所、病院、小中高特別支援学校、計2,774箇所に対して調査を実施し、その分析結果を秋田県のホームページに掲載してもらいました。今後も、介護保険以外の領域も含め、制度・政策、社会資源等についての動向を定期的に確認し、日々のケアマネジメントの実践のあり方を見直すための調査等をしてまいります。

◎ 相談部会 ◎

これまで、相談部会では、「顔の見える相談部会」として、対面による相談対応を基本に、研修時にブースを設け、随時相談を受付するスタイルで活動してきました。

しかしながら、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の流行による影響で、各種研修のほとんどがオンライン開催へ変更となっているため、対面による相談対応の機会を設ける事が出来ておりません。併せて、近年、相談部会に対する相談件数が増えていない事から、現在は新たな相談対応の形として、会員向けに Google フォームによる相談受付を行っております。

相談部会では、ファックス（HP 参照）、Google フォーム（↓）にて、相談を受付しておりますので、どうぞお気軽にご活用ください。



◎ 災害対策プロジェクト委員会 ◎

ここ数年、思いもよらない災害が頻繁に起きています。私たち介護支援専門員も災害時の支援を想定しながらケアマネジメントをすることが求められています。

災害発生時に、地域の介護支援専門員と迅速に情報共有できる仕組みづくり、その他にも災害対策、支援の基本的な考え方の周知。県、市町村や地域包括支援センター等、他の関係機関や団体との連携。地区支部、都道府県支部、日本介護支援専門員協会との連携（被災状況の報告や支援要請）など、職能団体の重要な役割と捉え活動をすすめています。

◎ 広報部会 ◎

広報部会では、『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』の更新と共に、『Facebook ページ』を通じて会員及び県民の皆様幅広く情報提供をしております。各種研修会（事業所へ配布されていない研修情報）及び最新の情報等については、ホームページや Facebook をご覧ください。

なお、PC ホームページトップ（携帯・タブレットでは MENU）にある

「会員専用ページ」のパスワードは、「」です。

第 21 号（発行日 令和 5 年 3 月 31 日）年 1 回発行

発行 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事務局 〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町 1 番 5 号 秋田県社会福祉会館 3 階

Tel : 018-893-4011

Fax : 018-893-4012

E-mail : acma@acma.jp

広報部会	佐藤 菖子（県北地区介護支援専門員協会）	新田 雅紀（県北地区介護支援専門員協会）
	佐藤 真弓（県北地区介護支援専門員協会）	川端 洋祐（中央地区介護支援専門員協会）
	伊藤 弘幸（県南地区介護支援専門員協会）	渡部 勝（県南地区介護支援専門員協会）